

まえがきi
言いかえを提案するまでの経緯v
凡例vii
目次x

I 介護用語編

わかりにくいことば ➡ わかりやすいことば

[食事]

001	飲水、飲水する ➡ 水分、水を飲む・水分をとる002
002	個食 ➡ 個別の食事、個別に食事する003
003	食札 ➡ 食事カード004
004	朝食 ➡ 早出し005
005	盗食する ➡ 他の人のを食べる・食べてしまう006
006	配茶、配茶する ➡ お茶出し、お茶を出す007
007	補食 ➡ 補助食・栄養補給008

[排泄]

008	汚染、汚染する ➡ 汚れ、汚れる・汚す009
009	失禁、失禁する ➡ おもらし・(トイレに)失敗する・トイレに間に合わない・もらす010
010	摘便 ➡ 便を指で出すこと011
011	弄便 ➡ 便いじり012

[入浴]

012	入禁 ➡ 入浴取りやめ・入浴中止・入浴なし013
013	個浴、個浴する ➡ 個別の入浴、個別に入浴する014
014	洗体、洗体する ➡ 体洗い、体を洗う015

[睡眠]

015	傾眠、傾眠する ➡ うとうと、うとうとする016
016	臥床する・入床する ➡ 横になる・休む・寝る・床につく017
017	浅眠 ➡ 眠りが浅い・浅い眠り018
018	入眠、入眠する ➡ 寝つき、寝入る・寝つく019
019	良眠、良眠する ➡ 安眠、よく寝る・よく眠る・よく休む020

[姿勢]

020	座位 ➡ 座った姿勢021
021	臥位 ➡ 寝た姿勢022

022	仰臥位・背臥位 ➡ あおむけ023
023	側臥位 ➡ 横向き・横向きに寝ること024
	右側臥位 ➡ 右を下にして寝ること	
	左側臥位 ➡ 左を下にして寝ること	
024	腹臥位 ➡ うつぶせ026
025	立位 ➡ 立った姿勢027
026	良肢位 ➡ 楽な体位・楽な姿勢028
027	円背 ➡ 猫背・背中が曲がること029
028	体交・体変 ➡ 寝返り介助・体の向きを変えること030

[その他]

029	開口、開口する ➡ 口開け、口を開ける031
030	更衣 ➡ 着がえ032
031	独居 ➡ 独り・一人暮らし033
032	評価する ➡ 観察する・様子を見る034
033	挙上する ➡ あげる・あがる035
034	施行する ➡ する・行う036
035	特変なし ➡ かわりなし037
036	頻回 ➡ しょっちゅう・ひんばん・たびたび038
037	訪室する ➡ 部屋に行く039
038	寝衣 ➡ ねまき・パジャマ040

コラム1 言いかえないことば1 [徘徊]、コラム2 読みを統一することば [患側・健側].....041

コラム3 言いかえないことば2 [清拭].....042

II 医療看護用語編

わかりにくいことば ➡ わかりやすいことば

[体の部分]

001	頸部 ➡ 首045
002	腋窩 ➡ 脇の下046
003	心窩部 ➡ みぞおち047
004	臀部 ➡ お尻048

[顔]

005	眼瞼 ➡ まぶた049
-----	----------	----------

006	口唇	⇒	くちびる	050
007	口角	⇒	口のはし	051
[歯とその周辺]				
008	齲歯	⇒	虫歯	052
009	義歯	⇒	入れ歯	053
010	歯肉	⇒	歯ぐき	054
[口の中・その働き]				
011	口腔	⇒	口の中	055
012	含嗽	⇒	うがい	056
013	残渣	⇒	かす	057
014	咀嚼する	⇒	かみ砕く	058
015	嚥下する	⇒	飲み込む	059
016	誤嚥する	⇒	食べ物などが気管に入ってしまう	060
[手と足]				
017	上肢	⇒	腕〈肩のつけ根から指先まで〉	061
018	下肢	⇒	足〈ものつけ根から足先まで〉	061
019	下腿	⇒	すね・ふくらはぎ・ひざから下	063
020	大腿	⇒	ふともも・もも	064
021	上腕	⇒	(腕の)ひじから上	065
022	前腕	⇒	(腕の)ひじから下	065
023	手掌	⇒	手のひら	066
024	手背	⇒	手の甲	066
025	足底	⇒	足の裏	066
026	足背	⇒	足の甲	066
027	踵部	⇒	かかと	068
[いろいろな症状]				
028	熱発	⇒	発熱	069
029	眩暈	⇒	めまい	070
030	羞明	⇒	まぶしさ	071
031	咳嗽	⇒	咳・咳と痰	072
032	嗄声	⇒	かすれ声・かれ声	073
033	喘鳴	⇒	ゼーゼー・ヒューヒュー	074
034	鼻閉	⇒	鼻づまり	075
035	口渴	⇒	のどの渇き、のどが渇く	076
036	嘔気	⇒	吐き気	077
037	吐血、吐血する	⇒	(消化器から出血した)血を吐く(こと)	078

038	咯血、咯血する	⇒	(呼吸器から)血を吐く(こと)	079
039	浮腫	⇒	むくみ、むくむ	080
040	腫脹	⇒	はれ、はれる	081
041	褥瘡	⇒	床ずれ	082
042	糜爛	⇒	ただれ	083
043	擦過傷	⇒	すり傷・かすり傷	084
044	腹部膨満	⇒	腹の張り、腹が張る	085
045	振戦	⇒	ふるえ	086
046	掻痒	⇒	かゆみ・かゆいこと	087
047	疼痛	⇒	痛み	088
048	廃用症候群	⇒	生活不活発病	089
[分泌物]				
049	眼脂	⇒	目やに	091
050	鼻汁	⇒	鼻水	092
051	粘稠	⇒	粘り気がある	093
052	流涎	⇒	よだれ	094
053	耳垢	⇒	耳あか	095
054	膿	⇒	うみ	096
055	落屑、落屑する	⇒	皮膚の粉、皮膚の粉が落ちる	097
056	帯下	⇒	おりもの	098
[関節の働き]				
057	伸展、伸展する	⇒	伸ばし、伸ばす	099
058	屈曲、屈曲する	⇒	曲げ、曲げる	099
[その他]				
059	塗布、塗布する	⇒	塗る(こと)	100
060	貼付する	⇒	貼る・貼りつける	101
061	微温湯	⇒	ぬるま湯	102
062	罹患	⇒	(病気に)かかる	103

Ⅲ 外来語編

わかりにくいことば ⇒ わかりやすいことば

[介護・福祉の考え方]

001 ソーシャルインクルージョン (social inclusion) ⇒ 社会的包摂・社

会的包み込み	106
002 アカウンタビリティ (accountability) ➡ 説明責任	107
003 アウトリーチ (out reach) ➡ 支援普及活動	109
004 アドボカシー (advocacy) ➡ 代弁	110
005 エイジズム (ageism) ➡ 高齢者差別	111
[介護と介護者]	
006 フェイスシート (face sheet) ➡ 基本情報シート	112
007 トランスファー (transfer) ➡ 移乗・移乗介助	114
008 ADL (エーディーエル) ➡ 日常基本動作・日常生活動作	115
009 リロケーションダメージ (relocation damage) ➡ 転居障害	116
010 ターミナルケア (terminal care) ➡ 看取りケア	117
011 グリーフケア (grief care) ➡ 悲しみのケア	118
012 レスパイトケア (respite care) ➡ 共倒れ防止ケア	119
013 ネグレクト (neglect) ➡ 介護放棄	120
014 エビデンス (evidence) ➡ 根拠	121
015 エンパワメント (empowerment) ➡ 持っている力を引き出すこと・自己啓発・能力強化	122
016 アサーション・アサーティブ (assertion・assertive) ➡ (わかり合える)自己表現	123
017 ラポール (rapport) ➡ 共感関係	124
018 バーンアウト (burn out) ➡ 燃え尽き	125
[人生の段階]	
019 ライフステージ (life stage) ➡ 人生の段階	127
020 リビングウイル (living will) ➡ 生前意思表示	128
[介護用具・補助具]	
021 アームサポート・アームレスト (arm support・arm rest) ➡ ひじかけ・ひじ置き	129
022 バックサポート・バックレスト (back support・back rest) ➡ 背もたれ	129
023 フットサポート・フットレスト (foot support・foot rest) ➡ 足置き	129
024 ボタンエイド (button aid) ➡ ボタン用補助具	132
025 ソックスエイド (socks aid) ➡ 靴下用補助具	132
026 ドレッシングエイド (dressing aid) ➡ 衣服用補助具	132
027 リーチャー (reacher) ➡ 物をつかむ補助具	134
028 ディスポーザブル (disposable) ➡ 使い捨て	135

コラム4 言いかえないことば3 [ストマ]、 コラム5 言いかえないことば4 [パウチ]	136
--	-----

付録	137
敬語 その1 利用者をなんと呼ぶか	138
敬語 その2 利用者にどのように話しかけるか	140
敬語 その3 引き継ぎのことば	141
敬語 その4 記録のことば	143
省略語 その1 漢字のことば	145
省略語 その2 アルファベットや記号	147
索引	149

わかりにくいことば 寝衣(しんい)



わかりやすいことば ねまき・パジャマ

解説

「寝衣」は、寝具の一種で身につけるものです。そうであるなら「ねまき」「パジャマ」と同じことになります。看護のことばに「寝衣交換」というのがあり、この「寝衣」は「病衣」と同じです。看護では病気の人の世話をするので「病衣」になるのですが、介護は病気の人とはかぎりません。看護のことばをそのまま使わないで、介護の場に合ったことばを使いましょう。

例

- [1] 利用者が快適に眠れるように、**寝衣**、枕などの寝具についても、その人に合ったものを選ぶ必要がある。
 ⇨利用者が快適に眠れるように、**ねまき**、枕などの寝具についても、その人に合ったものを選ぶ必要がある。
- [2] 入所時に新しい**寝衣**、室内着、洋服などを準備して、混乱させてしまった。
 ⇨入所時に新しい**パジャマ**、室内着、洋服などを準備して、混乱させてしまった。

コラム1 言いかえないことば 1

徘徊(はいかい)

解説

『三国』には「徘徊」は、「あてもなく歩き回ること」と書かれています。この語に対して、朝日新聞(2014.11.7)に、認知症の人が歩き回るのはそれなりの理由があるのだから、本人の気持ちを尊重したいとして、「ひとり歩き」「お出かけ」などの言いかえ語が紹介されました。毎日新聞(2015.5.13)には、『徘徊』を使うと行動の理由が見えない」として、このことば自体を使わないようにしている施設の例が紹介されています。「徘徊」には、「痴呆症」のような侮蔑的なニュアンスは感じられませんが、それでも失礼なことばだと思える人が多いようです。しかし、「ひとり歩き」という言いかえ語では、普通の行動のように受け取られて、認知症の症状であることが伝わりません。今のところはこの語を残しますが、認知症に対する意識の変化を見守っていきましょう。

コラム2 読みを統一することば

患側(かながわ) ➡ **患側(かんそく)**
健側(けながわ) ➡ **健側(けんそく)**

解説

「患側」は片麻痺の場合の障害がある不自由な側、「健側」は障害がない側を意味しています。「患側」の漢字には「カンソク」と「カンガワ」、「健側」の漢字には「ケンソク」と「ケンガワ」という二つの読みがあります。『介護事典』や第25回介護福祉士国家試験では、「健側」に「けんそく」とルビが振られています。また、第27回の国家試験では「患側」に「かんそく」とルビが振られています。ですから、ここでも音読みの「カンソク」「ケンソク」に統一することを提案します。

わかりにくいことば 褥瘡(じよくそう)



わかりやすいことば 床ずれ

解説

介護の世界を代表することばと言えるかもしれません。「褥瘡」は、「『褥』 = しとね(布団・敷物)の『瘡』 = きず」という意味からできたことばで、一般には「床ずれ」とも呼ばれています。「褥瘡」と「床ずれ」は同じ意味ですから言いかえができます。「床ずれ」の方が、漢字もやさしく、耳で聞いてもわかりやすいことばです。新聞でも両方使われていますが、読売・朝日・毎日の3紙の過去5年半の使用例を、それぞれのWEBサイトで用語検索してみると、下の表のようになりました。

	ヨミダス(読売)	聞蔵(朝日)	マイサク(毎日)
床ずれ	250件	214件	101件
褥瘡	82件	42件	20件

(2010年1月1日~2015年6月30日)

どの新聞でも「床ずれ」の方が圧倒的に多く使われていることがわかります。介護の世界でも、やさしいことばを使ってほしいです。

例

- [1] 褥瘡は、栄養状態の悪い人に発生しやすい。
 ⇨床ずれは、栄養状態の悪い人に発生しやすい。
- [2] 車いすやベッドの上で、同じ姿勢を続けていると、褥瘡ができます。
 ⇨車いすやベッドの上で、同じ姿勢を続けていると、床ずれができます。

わかりにくいことば 糜爛(びらん)



わかりやすいことば ただれ

解説

「糜爛」の漢字はとてもむずかしく、どの介護テキストでも「ピラン」・「びらん」とカタカナ・ひらがな表記されています。しかし、かな表記では意味がわかりません。『看護事典』でも漢字は示さず、「びらん erosion [ただれ]」と記しています。「びらん」は「ただれ」と同じということです。また、「びらん」は「肛門部にびらんができた」「びらんが広がる」のように名詞としてしか使えませんが、「ただれ」は本来「ただれる」という動詞からできた名詞なので、動詞形の使用もできるわけです。「ただれてしまう」「ただれないように」「ただれやすい」など広く使えます。

例

- [1] 下痢が続いて、肛門付近に**びらん**ができた。
 ⇨下痢が続いて、肛門付近に**ただれ**ができた。
- [2] 皮膚の水疱や**びらん**が褥瘡にならないように、軽いうちに手当てをする。
 ⇨皮膚の水疱や**ただれ**が床ずれ(→82ページ)にならないように、軽いうちに手当てをする。

▶▶▶ 024 [介護用具・補助具]

わかりにくいことば ボタンエイド (button aid)



わかりやすいことば ボタン用補助具

▶▶▶ 025 [介護用具・補助具]

わかりにくいことば ソックスエイド (socks aid)



わかりやすいことば 靴下(くつした)用補助具

▶▶▶ 026 [介護用具・補助具]

わかりにくいことば ドレッシングエイド (dressing aid)



わかりやすいことば 衣服用補助具

解説

「～エイド」の「エイド」は英語の aid のことで、何かを助けるという意味です。つまり「エイド」の前にくる物を補助する用具のことです。そこで、「ボタンエイド」は「ボタン用補助具」、「ソックスエイド」は「靴下用補助具」、「ドレッシングエイド」は「衣服用補助具」に言い換えたいと思います。また、ここでは「補助具」としましたが、こうした道具を扱っているメーカーのホームページなどでは、「自助具」の語が多くなっています。

利用者や障害者の「自立」が奨励されるようになり、「障害者自立支援法」「障害者総合支援法」などもできて、「自助」のことが多くなっているようです。同じものを「補助具」と言ったり「自助具」と言ったりで、また紛らわしいですが、法律や制度と共にことばが変わる例を目の当たりにしているわけです。ここでは自分でできるようにする「自助

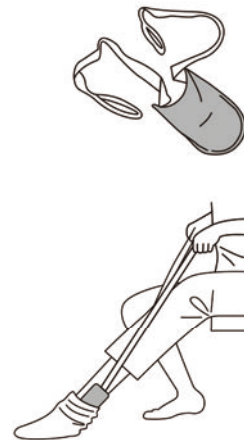
具」のほかに、他人が使う「補助具」もあると思われるので、広い意味の「補助具」を選びました。

例

- [1] 衣服は、着脱しやすく動きやすいものを選び、着るときには、**ボタンエイド**などを活用します。
⇒衣服は、着脱しやすく動きやすいものを選び、着るときには、**ボタン用補助具**などを活用します。
- [2] Bさんは肩の関節に障害があるが、**ソックスエイド**を利用すれば靴下も自分ではける。
⇒Bさんは肩の関節に障害があるが、**靴下用補助具**を利用すれば靴下も自分ではける。
- [3] Aさんは片腕が不自由だが、**ドレッシングエイド**を使えば、衣類を引っかけたり上げ下げしたりできる。
⇒Aさんは片腕が不自由だが、**衣服用補助具**を使えば、衣類を引っかけたり上げ下げしたりできる。



ボタン用補助具



靴下用補助具



衣服用補助具